

たいせい 大生だより NO.4



社会福祉法人大生福祉会 大生信夫の里
福島市笹谷字新町裏 6 番地の 1
☎ 024-573-4022 fax 024-573-4066



ホームページ
フェイスブック
ツイッター
taisei-shinobunosato.jp
facebook.com/taiseishinobu
twitter.com/egao_tomato

R3.12.7 発行

12月7日 大生信夫の里 5年目を迎えました。

「利用者は満足していますか。働く人は満足していますか。経営者はその正当性を社会に主張できますか。」これは創設者が掲げた法人経営理念です。私が理事長を受け継ぎ3年半となりますが、どれもまだ十分に達成されているとは言えません。5年目を迎えるにあたり改めてかみしめたいと思います。

この2年、世の中はコロナ感染症に苦しみました。医療先進国と言われていた日本においても、本来先頭に立つべき保健所がここ20年来の統廃合により役割を十分に果たしきれず、社会は混乱、疲弊しました。行き過ぎた合理性、効率性の追求が社会の脆弱性を生み出したのではないのでしょうか。社会生活に不可欠な仕事である社会福祉事業においても、合理性、効率性を追求しすぎるといざという時に十分な福祉サービスを提供できなくなってしまいます。社会福祉事業に携わる者として、このことを肝に銘じ今後の経営にあたって参りたいと思います。これまでのご支援に感謝申し上げます。今後とも大生福祉会大生信夫の里を宜しくお願い申し上げます。

社会福祉法人大生福祉会 理事長 根本 光雄



吾妻小富士が雪化粧し寒風が吹くこの季節に大生信夫の里はオープンしました。皆様のご理解、ご協力を得て5年目を迎えることができますことに感謝の気持ちでいっぱいです。

就労B型事業所ではトマトを栽培しています。7月に苗を植えたトマトは翌年6月まで実をつける息の長い植物です。創業者である前理事長の「トマトと同じで障がいを持って生まれてきても、ずっと成長を続けることができるように」という思いを胸に、今日も利用者様と一緒にトマト栽培を続けています。

生活介護事業所では、社会に出てから体を動かす機会が減ってしまわないように天気の良い日はウォーキングにでかけます。自然環境に恵まれた地域なので、これからの季節は田んぼに降り立つ白鳥を眺めながらウォーキングができます。

私たちが行っている支援は、障がい者の方が生活していくうえではほんの一部でしかないのかも知れません。それでも、あたたかく吹く春風のような存在で見守っていただけたらと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

施設長：就労B・生活介護管理者 出口 美和



11/24 東京パラリンピック出場 佐々木真菜選手記念講演会開催

東京パラリンピック陸上競技（視覚障がいT13）400mで7位入賞の佐々木真菜選手と天下谷コーチにお越しいただき「きっかけひとつで自分を変えることができる」をテーマに東京パラでの走りや選手村の様子、自身の視力障がいとの向き合い方などをお話いただきました。

グループホーム利用のSさんは「自分も佐々木選手を見習って、できることを増やして一歩前に進んでいこう」と思ったと感想を寄せてくれました



開所とともに始まったグループホームも 5 年目という節目を迎えることができました。これまで運営にご協力いただきました関係機関の皆様には、大変深く感謝しております。ありがとうございます。

大生信夫の里グループホームは、利用者様の安定した地域生活と定着、仲間と過ごす豊かでよりよい生活の実現に向けた拠点として、今後もその役割を担っていければと考えております。

仲間と生活することで多くの楽しみやオープンなコミュニケーションに触れることで、社会的孤立を感じることなく生活して頂けるように、私たちは今後も支援して参りたいと思っております。

これからも引き続き宜しくお願い申し上げます。

副施設長：グループホーム管理者 伊藤 満



今年もジャンダルムでは、お子さんたちのいろいろな声が響きわたりました。活動で経験したことのひとつひとつが成長のきっかけや種となって、それぞれのペースで実りとなり、お子さんひとりひとりの姿からそれぞれの成長を感じることができました。ジャンダルムは、来年 2 月でまる 3 年が経ちます。経験に甘んじることなく日々研鑽を重ね、保育者一丸と



なりさらに築きあげていきたいと思っております。今後も「笑顔で迎え笑顔で過ごし笑顔で送ります」を支援の柱に、お子さんひとりひとりを大切に居心地のよい、保護者様に安心していただける支援をしていきたいと思っております。コロナによる様々な規制の中、保護者の皆様にはご理解ご協力いただきましてありがとうございました。

たいせいジャンダルム管理者 池田 仁子

全日本女子ソフトボール大会決勝戦観戦！ (グループホーム)



東京オリンピック金メダリストの選手のプレーを間近にみてきました。上野由岐子選手が登板した時の歓声はすごかったです。紅葉一色の秋晴れの中たのしい外出となりました。



きになるひょうげん展 入選 中島優太さん

生活介護事業所での個別活動作品を 2 点出展しました。今回、中島優太さん（19 歳）の作品がみごと入選いたしました。猪苗代の「はじまりの美術館」に 1/23 まで展示中です。優太さん、おめでとうございます。



編集後記

事業所の取り組みや利用者様の様子を楽しくお伝えしたくこの大生だよりの発行を始めました。利用者様、ご家族様、学校、行政機関、相談員様、業者様、地域の皆様本当にたくさんの方に大生信夫の里は支えられています。

今年一年大変お世話になりありがとうございました。2022 年が皆様にとりまして幸多き年となりますように。よいお年をお迎えください。編集担当：木戸 秀子